

# 海上保安庁の救助・救急体制

---

- 1 海上保安庁の救助体制
- 2 令和3年度の救急活動の実績
- 3 救急員の運用
- 4 技能維持

令和4年5月25日

海上保安庁 警備救難部 救難課  
医療支援調整官 佐々木 崇夫

# 1 海上保安庁の救助体制

## 【情報入手から救助完了までの流れ】



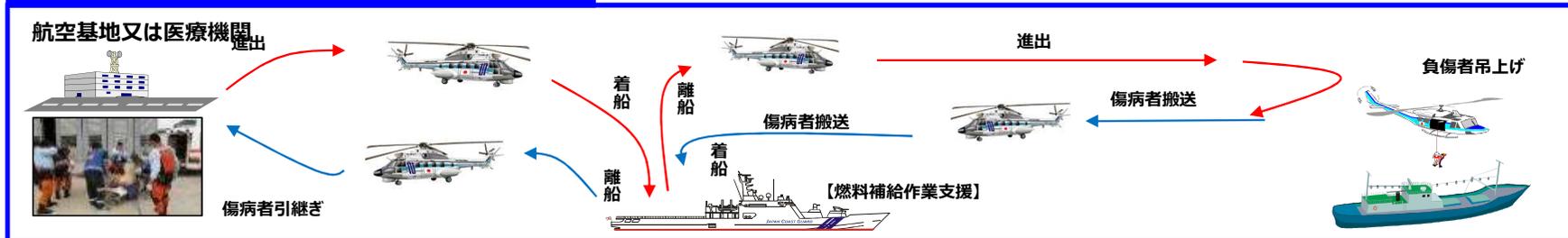
# 1 海上保安庁の救助体制

## 【 傷病者の搬送パターン 】

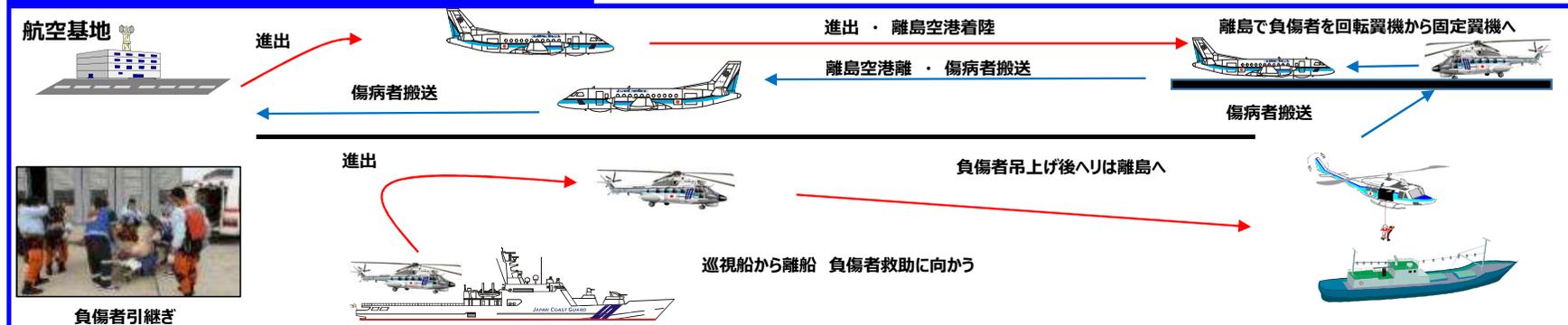
### ヘリコプター又は巡視船単独による搬送



### 巡視船を経由してヘリコプターによる搬送



### 巡視船、飛行機、ヘリコプターによる搬送



# 1 海上保安庁の救助体制

## 【 救 助 ・ 救 急 体 制 】

### 特殊救難隊

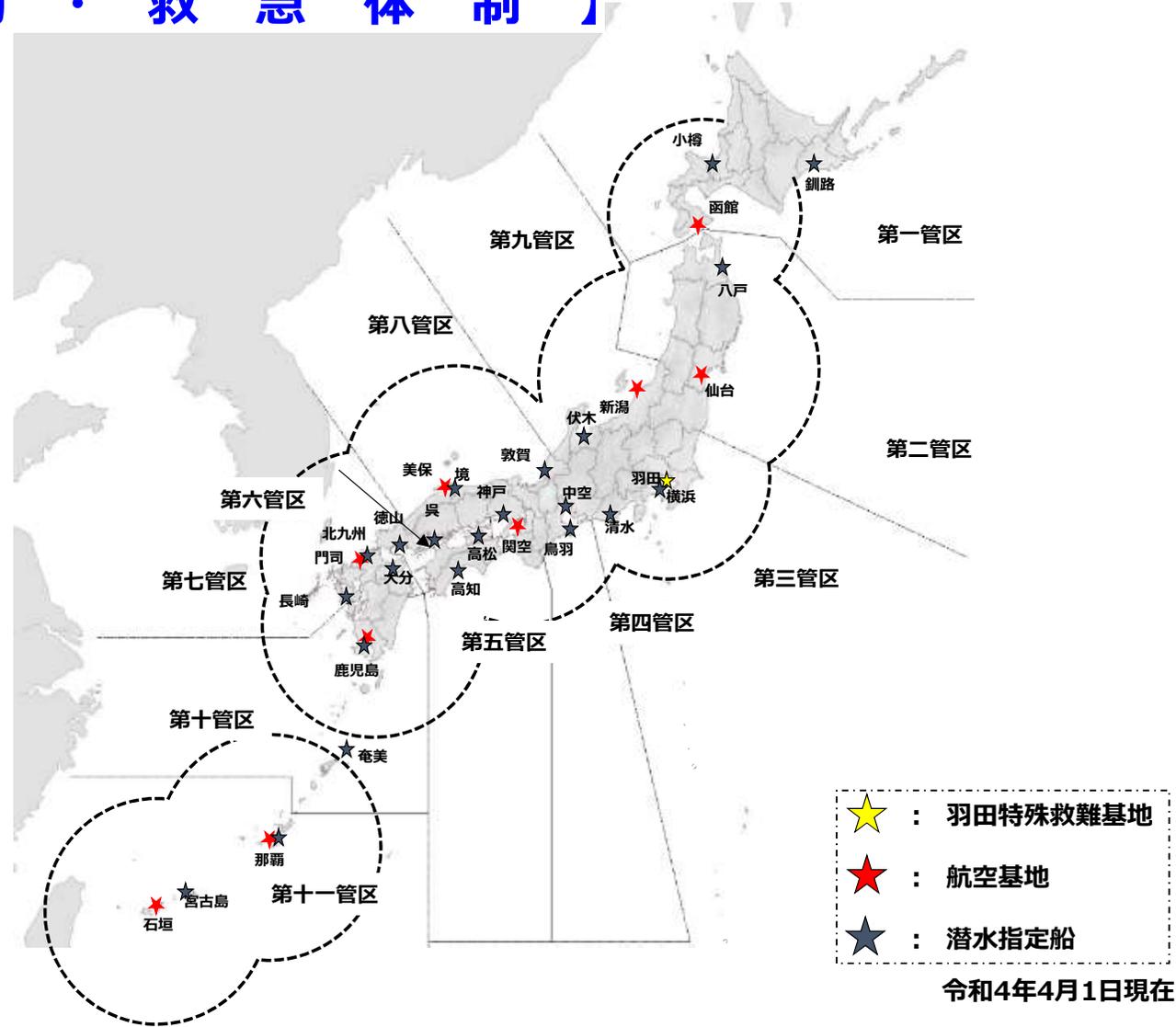
所属 羽田特殊救難基地  
人数 38名  
資格 救急救命士または救急員

### 機動救難士

所属 航空基地等（全国に9か所）  
人数 各9名  
資格 救急救命士または救急員

### 潜水士

所属 潜水指定船（全国に22隻）  
人数 各4名または7名  
資格 救急員



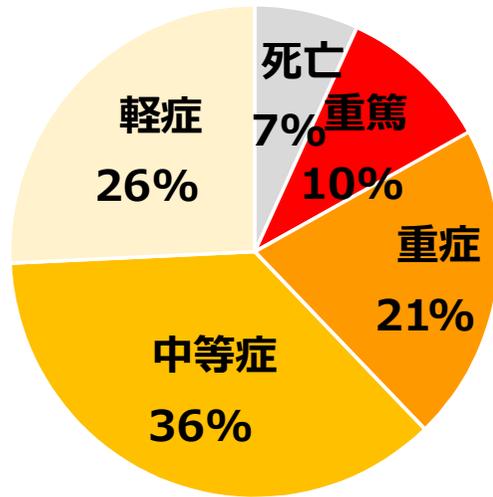
# 1 海上保安庁の救助体制

## 【 救 助 部 隊 の 特 色 】

	潜水	航空救難	救急	火災危険物
<b>特殊救難隊</b> Special Rescue Team	高度な知識・技術を必要とする特殊海難における人命・財産の救助 潜水・60m <sup>※3</sup> 「リペリング降下」等 (ロープを使って自力で降下) 救急救命士・救急員を配属			
<b>機動救難士</b> Mobile Rescue Technicians	ヘリコプターと連携した吊上げ救助等迅速な人命救助 潜水・8m <sup>※2</sup> 「リペリング降下」等 (ロープを使って自力で降下) 救急救命士・救急員を配属			
<b>潜水土</b> Diver	潜水技術を必要とする海難における人命・財産の救助等 潜水・40m 「ホイスト降下」等 (ウインチを使って降下) 救急員を配置			
	※1 CBRNE : Chemical(化学), Biological, (生物) Radiological(放射性物質), Nuclear (核) Explosive(爆発物)に起因する災害。 ※2 航空機の搭乗を考慮して、一定の制限を設けている。 ※3 混合ガス潜水資器材を使用した場合に限り、深度60mまで潜水可能。			

## 2 令和3年度の救急活動の実績

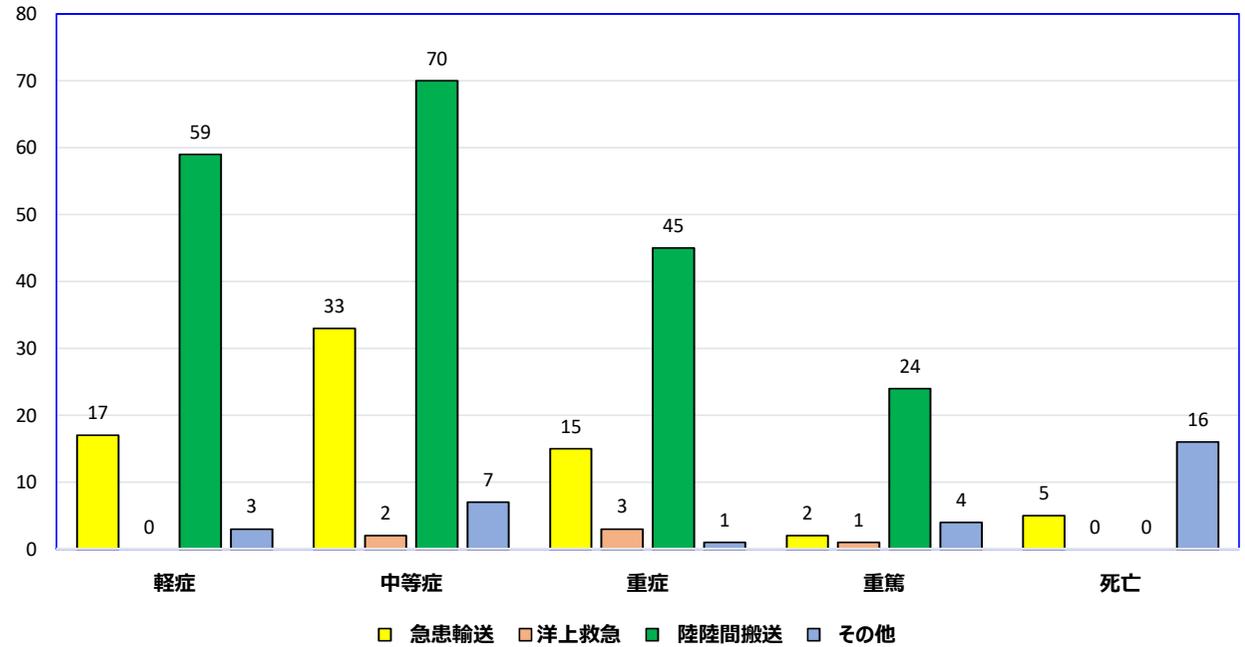
重症度別



**中等症以上：74%**

- 重 篤… 生命の危険が切迫している
- 重 症… 生命の危機が強い
- 中 等 症… 入院を要する
- 軽 症… 軽易で入院を要しない

重症度・搬送別



	急患輸送	洋上救急	陸陸間搬送	その他	小計
軽症	17	0	59	3	79
中等症	33	2	70	7	112
重症	15	3	45	1	64
重篤	2	1	24	4	31
死亡	5	0	0	16	21
小計	72	6	198	31	307

### 3 救急員の運用

制度創設

- 平成31年4月1日に救急員制度を創設
- 救急救命士を補助して行う応急処置を実施可能とし、洋上における救急体制をより一層充実させる。



実績

- 指名数 : 救急員76名 (令和3年3月15日現在)
- 対応件数 : 247症例、応急処置等1089件 (平成31年4月1日～令和2年12月31日)



事後検証

- 庁内検証、医師検証の実施
- 海上保安庁メディカルコントロール協議会総会で審議 ⇒令和3年3月、救急員単独での応急処置実施の承認



単独処置

- 関係規則等の改正 ⇒令和3年8月、救急員単独での応急処置を開始

#### 平成31年4月からの救急活動



#### 令和3年8月からの救急活動



# 4 技能維持

## 【海上保安庁の救急活動現場の特色】

- 救急業務、救助業務を兼務
- 消防救急隊員に比べ、件数が少ない
- 中等症以上の傷病が多い
- 管区ごとに、実績・処置内容が異なる
- 救急搬送専用仕様でない狭隘な機内での措置
- 搬送時間が長い ⇒ 処置時間が長い
- 傷病者が外国人であることが散見



## 【特色から生ずる課題と対策】

- 多岐にわたる業務・習得すべき技能
- 経験の付与
- 救急救命士・救急員の技能格差
- 長期搬送、機内環境に応じた処置の確認



救急活動現場を再現した模擬訓練で経験を補完



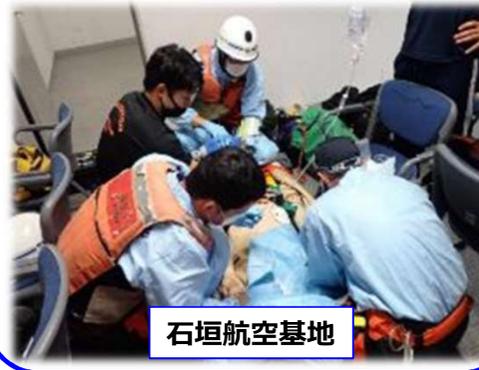
## 【シミュレーション訓練の導入】

- 訓練目的
- 活動時における総合的な能力の維持・向上
- 特殊性に応じた対応の構築・情報共有
- 救急救命士・救急員の技能格差を解消

## 「基地⇄基地」間で実施

### 【プレーヤー】

- 救助者
- 要救助者
- 船員等関係者
- 訓練補助者



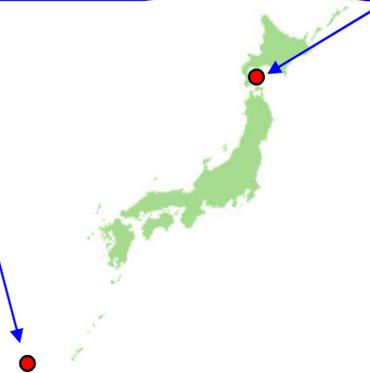
石垣航空基地

### 【コントローラー】

- 想定付与
- 訓練評価者（複数）



函館航空基地



# 4 技能維持

## テレビ会議システムで訓練を進行

